

AES-50

取扱・取付説明書

6SS0908

このたびは、セキュリティユニットAES-50をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、操作手順をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
製品保証はメインとなるエンジンスターターの保証規定に準じます。

取扱方法

本機は併用する弊社エンジンスターターのリモコンのドアロック/アンロック操作で、警戒開始/警戒解除ができます。
警戒中にドアの開・強い衝撃を検知すると警報動作を行います。

- ・警報動作……車輦の警音器(クラクション)を30秒間鳴らします。
クラクションは断続音で鳴動します。
警報動作はドアロック操作で停止できます。

補足

- ・スタンバイ時間中にエンジンキーをON(ACC ON)にすると警戒を開始しません。
- ・警戒中にエンジンを始動すると警戒を解除します。
※エンジンスターターでのエンジン始動は警戒を継続できます。(紫線接続時)

ご使用上の注意(重要)

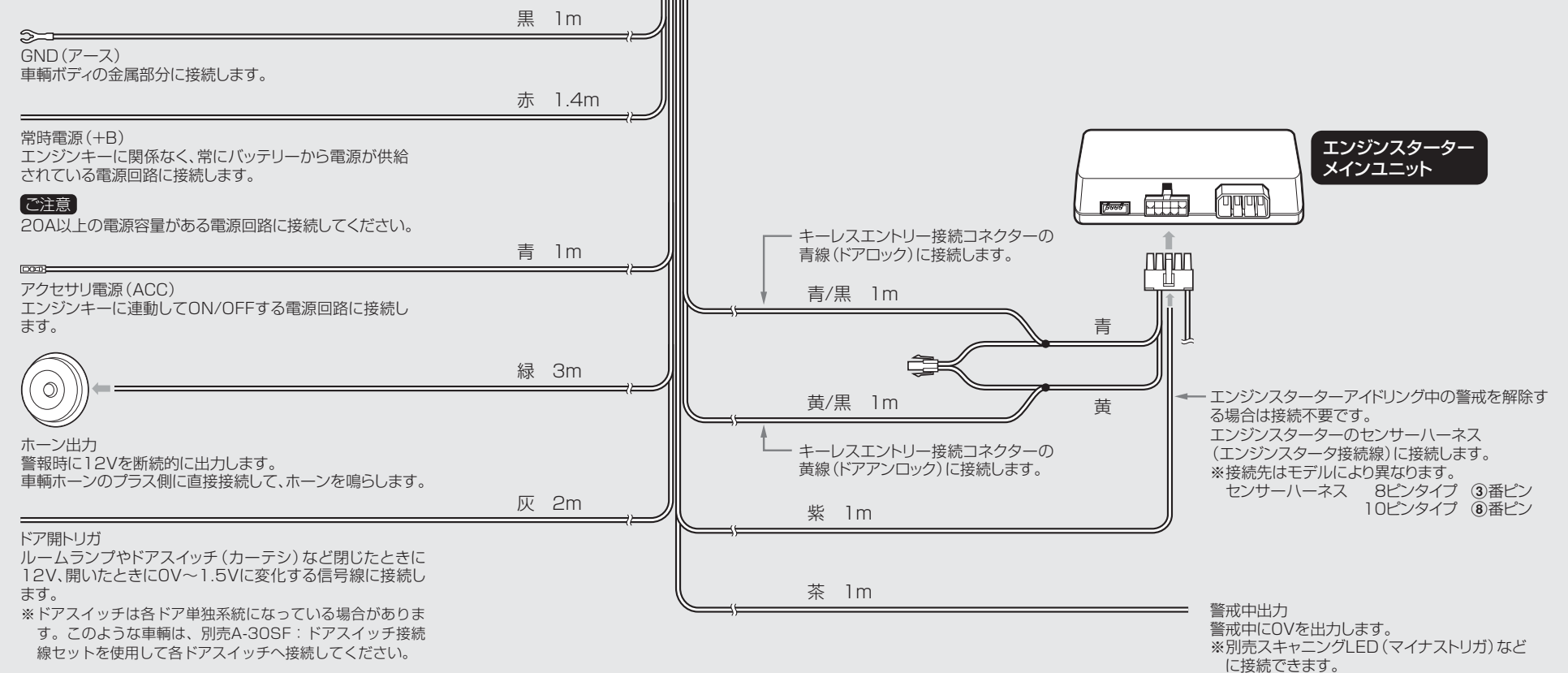
警戒中にエンジンスターターでエンジンを始動し、車に乗り込む際は、必ず、エンジンスターターのリモコンで警戒を解除してください。

- ・エンジンスターターによるアイドリングやターボタイマー動作中の警戒開始(ドアロック)操作はアイドリング終了後に警戒を開始します。
- ・別売A-17SF：キーレスエントリー線を接続してある場合は、ドアロック/アンロックに連動した操作が可能です。
- ・ドアロック/アンロック操作方法について詳しくは、エンジンスターター取扱説明書をご覧ください。
- ・エンジンキーでアイドリング中は、本機警戒開始・ドアロックができません。
- ・車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
スリープ機能が働くと、警戒を解除します。スリープ機能はエンジンを始動すると解除できます。

基本接続図

車輦信号線と接続する際の注意

※接続先はサーキットテスターで確認してください。
※接続は市販のエレクトロタップなどを使用して、車輦の信号線と確実に接続してください。
また、接続後は接続部を必ず絶縁テープなどでテーピングしてください。



取り付けの前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け・お使いください。ここに記載された注意事項は、取り付け・接続作業をする方とお客さまの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠ **警告：** 警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ **注意：** 注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

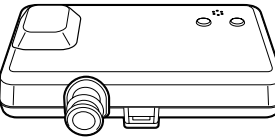
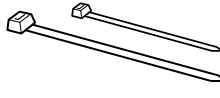
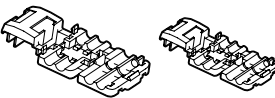
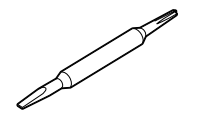
絵表示について

- ⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- 🚫 ○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠ 警告

- ❗ 安全に作業をしていただくため、パーキングブレーキを必ずかけ、バッテリーのマイナス端子を外して作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は、必ずエンジンが止まっている状態のときに行ってください。
火傷する恐れがあります。
- 🚫 エアバッグシステムの配線およびコネクタには触れないでください。
エアバッグシステムが異常になることがあります。
- ❗ 車輦の信号線に接続する際はサーキットテスターで確認してください。
- ❗ 接続は市販のエレクトロタップなどを使用して、車輦の信号線と確実に接続してください。また、接続後は接続部を必ず絶縁テープなどでテーピングしてください。
- ❗ 各ユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。
- 🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や火災の原因となります。

セット内容

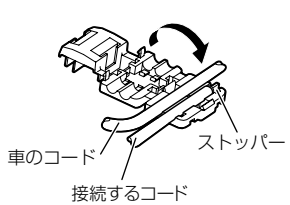
- 
- 
- 
- 
- セキュリティユニット (1)
 - タイラップ (大1、中1)
 - 調整ドライバー (1)
 - セキュリティステッカー (1)
 - 取扱・取付説明書 (本書)

エレクトロタップの使いかた

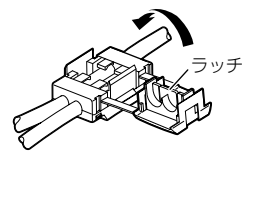
各検出線は以下の手順で接続してください。

※ エレクトロタップは大小2種類あります。ケーブルの太さに合ったエレクトロタップをご使用ください。

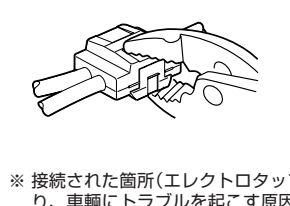
① 各検出線を図のストッパーに突きあて、車のコードを通して矢印のように折り返す。



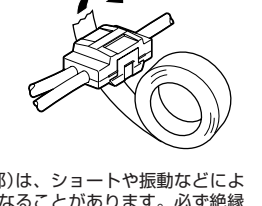
② もう1度、矢印のように折り返す。



③ プライヤーなどで、ラッチがかむまで締め付ける。



④ 絶縁テープを巻く。



※ 接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車輦にトラブルを起こす原因となります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

セキュリティユニットの取り付け

ボディ、ウィンドウへの衝撃を検知する衝撃センサ(強い衝撃)とドア開時のわずかな気圧変化を検知する空気流ドアセンサを内蔵しています。セキュリティユニットのボリュームでセンシングごとの感度調整ができます。

※ すべての設定と動作の確認を終了するまでは、仮の取り付け(最終的な取り付け場所付近で仮止め)にしてください。仮の取り付け場所と最終の取り付け場所が大きく異なる場合は、衝撃センサや空気流ドアセンサの反応が異なり、誤作動の原因となります。

セキュリティユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならず、不審者に発見されにくいような場所にしっかりと固定し、タイラップやコードクリップを使用して配線処理をしてください。

1 市販の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する

※ 走行中の振動で容易に外れないように付属のタイラップで、セキュリティユニットやハーネス類を固定します。

ご注意

次のような場所を、避けて取り付けてください。

- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。

衝撃センサ・空気流ドアセンサの感度調整

●**強衝撃の感度調整**

通常使用では調整の必要はありません。周囲の環境(幹線道路に面している駐車場や、地下駐車場の排気ファンの近くなど)により、誤作動が多い場合など調整をしてください。強衝撃感度調整ボリュームを反時計方向に回すと感度が低下します。誤作動がなくなる位置に調整してください。※付属の調整ドライバーを使用して調整してください。

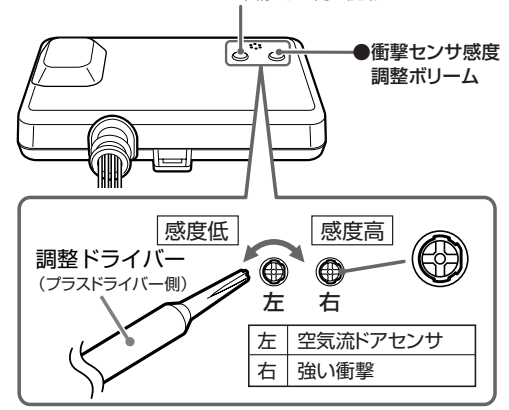
●**空気流ドアセンサの感度調整**

ドア開トリガを接続していない場合は、ドアを開けて警報が鳴るように調整してください。※全てのドアで確認してください。※感度を上げすぎると誤動作の原因になります。※気密性の低い車輦では、空気流ドアセンサによるドア開検知ができないことがあります。このような車輦ではドア開トリガの接続を行ってください。

ドア開トリガをルームランプやドアスイッチ(カーテシ)に接続している場合は、空気流ドアセンサの感度を最低(反時計方向)に設定してください。

●空気流ドアセンサ感度調整ボリューム
※空気流ドアセンサは、ドア開トリガの接続ができない車輦のドア開を検知しています。

●衝撃センサ感度調整ボリューム



調整ドライバー(プラスドライバー側)

感度低 感度高

左 右

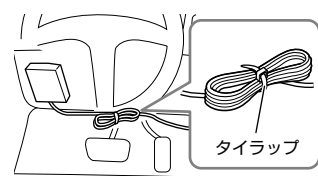
左 空気流ドアセンサ
右 強い衝撃

配線処理について

すべての取り付けや設定、調整が終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。配線処理は、各ユニットの操作性やケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して、位置や向きを決めてください。

■**タイラップによる配線処理**

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに付属のタイラップを用いて共締めします。余分なケーブルは束ねて共締めしてください。



「セキュリティステッカー」の貼り付け

付属のセキュリティステッカーは車輦の側面ガラスまたはリアガラスに貼り付けることができます。

ポイント

車輦保安基準により、盗難防止用ステッカーの貼り付け位置が決められています。

- 前席側面ガラスには指定範囲内に限り、貼り付けできます。
- 後席側面ガラス、リアガラスはお好きな場所に貼り付けできます。
- 前面ガラスには貼り付けできません。

この部分に貼り付けた場合、車輦整備不良となります。

この範囲内に貼り付けできます。

ウェザーストップ

125mm

100mm

ステッカーを前席側面ガラスに貼り付ける場合はガラス開口部(ウェザー・ストップ、モールなどと重なる部分は除く)下縁から100mm以内で、後縁から125mm以内の範囲に貼り付けることができます。

- 運転席側、助手席側とも、貼り付けできる範囲は同じです。
- 指定範囲からはみ出さないように貼り付けてください。

お願い

車輦の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明を行ったうえで、本書をお渡しく下さい。長期間、車を使用しない場合は、車輦のバッテリー上がりの心配がありますので、セキュリティを解除しておくか、できるだけ定期的に走行して、充電を心がけるように説明してください。

仕 様

電源電圧	12V車専用
動作温度範囲	セキュリティユニット：－40℃～85℃
消費電流	警戒時 平均3.5mA 待機時 平均2.8mA
外形寸法	セキュリティユニット：106(W)×19.2(H)×61.0(D)mm(突起部含まず)
重量	セキュリティユニット：185g(ケーブル含む)

本機はセンサにより異常を検知し、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラや盗難を完全に防止できるものではありません。また、本機の動作の有無に関わらず発生した盗難事故、イタズラによる損害、被害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

お客様ご相談窓口

製品の取り付け、取り扱いなどで
ご不明な点がございましたら、
最寄りの弊社サービス部またはご相談窓口

0564-45-6515

までお問い合わせください。

受付時間 10：00～18：00
(年末年始など、当社指定期間を除く)

本機を取り付けたことによる、車輦や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

2100 PRINTED WITH SOY INK